

大学院入学試験問題用紙

2022年度1期

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
英語	農業経済学 専攻 博士後期 課程		

(1) 以下の英文は、EU が設立した The European Innovation Partnership for Agricultural productivity and Sustainability (EIP-AGRI)が作成した報告書の一部である。英文をすべて和訳しなさい。

[Redacted area containing the text to be translated]

(出典：EIP-AGRI Focus Group, New entrants into farming : lessons to foster innovation and entrepreneurship ,2016)

大学院入学試験問題用紙

2022 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
英語	農業経済学 専攻 博士後期 課程		
<p>(2) 以下の日本語を英語にしてください。</p> <p>① 日本農業の問題には、低生産性と「豊作貧乏」を引き起こす農業生産の不安定性がある。</p> <p>② 農業を始めるにあたって問題なのは、新規就農のためのハードルの高さです。</p> <p>③ 日本人は食の安全性に対して非常に高い意識を持っています。国内産の農作物は、比較的安全であると思われています。</p> <p>④ 農業経営の多角化は雇用の創出につながる。</p>			

大学院入学試験問題用紙

2022 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
食料経済学	農業経済学専攻 博士後期課程		

以下の 4 問の中から 1 問を選択して解答しなさい。
解答の際に、選択した問題の番号を明記すること。

Q1. (食料経済学) 少子高齢化等が農業分野、食料分野に及ぼす影響について書きなさい。

Q2. (経済地理学) 日本とアメリカ合衆国では文化や習慣が異なる。食品に関連する企業が他国でビジネスを展開する際、どのようなことが課題となるか。日本の企業がアメリカでビジネスを展開する場合（または、アメリカの企業が日本でビジネスを展開する場合）を想定して、議論せよ。

Q3. (開発経済学) いわゆる「中所得国の罠」と呼ばれる現象について、アジアの一つの国の事例を用いて説明せよ。

Q4. (食品マーケティング) プライベートブランドの優位性について、ナショナルブランドと比較しながら論ぜよ。

大学院入学試験解答用紙

2022年度I期

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
食料経済学	農業経済学専攻 博士後期課程		
<p>問題番号</p> <p>[]</p>			